

愛媛県立中央病院
救急科専門研修プログラム
2026

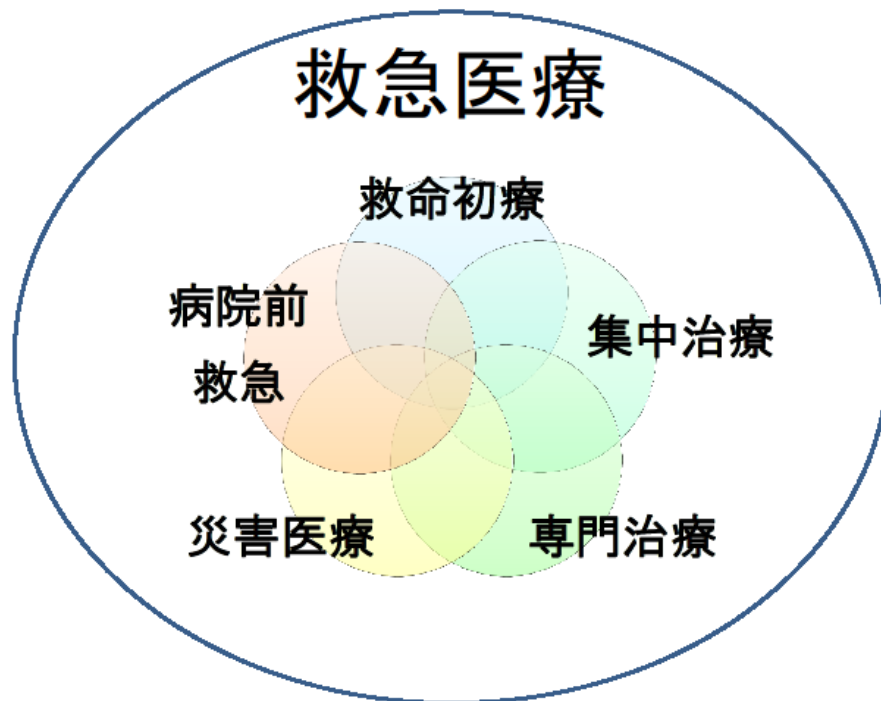


愛媛県立中央病院
高度救命救急センター

愛媛県立中央病院高度救命救急センターで

救急医療に携わってみませんか？

救急医療は、緊急性の程度や罹患臓器も不明確な状況において、いずれの病態の緊急性にも対応することが必要になります。愛媛県立中央病院救急科専門研修プログラムでは、県内外の医療機関と協力して5つの柱を中心に、救急科専門医の育成を行います。初期診療から集中治療、その後の診療の全過程において、患者に提供されるべき医療は何か、を常に考えていきたいと思います。



当プログラムの5つの柱

救急科専門医取得後には、サブスペシャリティ領域である集中治療科専門医や、日本航空医学会認定指導者等の資格取得を目指す、あるいは災害医療などの研修も可能です。国内留学や、社会人大学院へ進学することも選択可能です。交代勤務制を導入し、ワークシェアリングを行っています。

愛媛県立中央病院救急科研修プログラムの特徴

- ・初期診療から集中治療、その後の診療の全過程において、専攻医が主体性を持って研修することができる。
- ・総合病院であることを活かし各専門診療科と連携することで、奥深い診療を身に付けることができる。
- ・愛媛県ドクターヘリなどの病院前医療と、地域医療機関での研修により、幅広い診療を身に付けることができる。

●専門研修1年次（愛媛県立中央病院：12 か月）

研修到達目標：

救急初療を理解し、時間的センスを身につける。また救急基本手技を習得し、救急医としての基礎を確立する。

研修内容：

指導医とともに治療を担当する。個々の症例に対してじっくりと考え、理解する。各人がそれぞれの患者のアセスメントをしっかりと行い、患者の状況にあったプランを立て、実行することができるよう訓練を行う。

●専門研修2年次（愛媛県立中央病院 6 か月、島根県立中央病院・兵庫県災害医療センター・前橋赤十字病院、愛媛県立新居浜病院から 6-12 か月）

研修到達目標：

各人が責任を持ってそれぞれの患者のアセスメントをしっかりと行い、患者の状況にあったプランを立て、実行する。ER、集中治療、災害医療等を経験し、様々な症例を経験することで、より深い見識を得る。

研修内容：

数多くの症例を担当することによって、知識、技術を確立させる。
またドクターカー、ドクターヘリといったプレホスピタルケアを研修する。

●専門研修3年次（愛媛県立新居浜病院、愛媛県立今治病院、愛媛県立南宇和病院、市立宇和島病院、西予市民病院から地域救急研修 3-6 か月、愛媛県立中央病院で 6-9 か月、あるいは他科研修）

研修到達目標：

救命救急センターにおいて重症急性病態の初療と集学的治療のマネジメントを行う。また、地域救急医療を研修する。

研修内容：

救急初療、集中治療、病院前救急においてリーダーとして治療を担当する。
他職種と連携をとり、病棟管理を行う。地域のメディカルコントロールに参加する。

愛媛県立中央病院救急科研修プログラム研修実績：

- 2018年 ・3名 救急科専門医取得（2021）
- 2019年 ・1名 救急科専門医取得（2022）
- 2020年 ・島根県立中央病院救急科専門研修プログラム1名（9か月）
・愛媛大学総合診療専門研修プログラム1名（3か月）
- 2022年 ・1名
・愛媛大学内科専門研修プログラム1名（3か月）
- 2023年 ・1名
・愛媛生協病院総合診療専門研修プログラム1名（3か月）
- 2024年 ・カリキュラム制1名

■基幹研修施設

□愛媛県立中央病院高度救命救急センター

(1)救急科領域の病院機能：

- ・基幹災害拠点病院、原子力災害拠点病院
- ・愛媛県ドクターヘリ基地病院（日本航空医療学会認定指定施設）
- ・ドクターカー運用(救急科、新生児科)
- ・松山市消防局救急ワークステーションによる医師同乗救急
- ・日本専門医機構救急科専門研修プログラム基幹施設
- ・日本専門医機構集中治療科専門研修施設

(2)指導者 救急科専門医 10名、救急医学会指導医 1名、集中治療科専門医 5名

(3)救急車搬送件数 約 4000 台/年

(4)救急外来受診者数 約 6400 人/年

(5)給与：

基本給：月額 343,549 円(3 年次)。

超過勤務手当、宿日直手当は別途支給。住居手当、通勤手当は規定に基づき支給。

(6)社会保険：労働者災害補償保険、健康保険、厚生年金、雇用保険加入

(7)宿舎：あり

(8)専攻医室：あり

■研修連携施設

□前橋赤十字病院高度救命救急センター

群馬県の救急医療の中核となる病院です。プレホスピタルから初療、集中治療に取り組んでいます。体外循環の管理に強みがあります。当院からの派遣実績は2019年に1名、6ヶ月間研修しました。

□島根県立中央病院高度救命救急センター

島根県の出雲市にある島根県の中心的病院です。ERから初療、集中治療をカバーし、災害医療にも取り組んでいます。当院からの派遣実績は2019年に1名、2021年に1名、2024年に1名、2025年に1名がそれぞれ6ヶ月間研修しました。

□兵庫県災害医療センター高度救命救急センター

主に3次救急に特化した、兵庫県の中心的病院です。災害医療では西日本の中心的な役割を担っています。

□愛媛県立新居浜病院救命救急センター

東予地域の救命救急センターです。主に新居浜・西条圏域の3次救急を担っています。初療から集中治療、また専門診療まで幅広く研修することができます。2024年より1名が1年間3か月間研修しました。

■関連施設

□市立宇和島病院

南予救命救急センターを併設しており、南予地域の救急医療において中心的な役割を担っています。初療から全身麻酔・集中治療を研修することができます。2020年に3名がそれぞれ3か月研修しました。

□愛媛県立今治病院

今治圏域の中心的な医療機関であり、特に循環器救急、脳神経救急を研修することができます。

□愛媛県立南宇和病院

愛南町の医療を担っています。地域の二次救急における総合内科診療を中心に研修することができます。2023年に1名が3か月研修しました。また2024年にカリキュラム制として1名が1年間研修しました。

□西予市立西予市民病院

西予市の救急医療を支えています。地域救急医療を研修することができます。

■応募方法と採用

①応募資格

- 1) 日本国の医師免許を有すること
- 2) 令和 6 年に医師免許を取得し、厚生労働省臨床研修修了予定者または平成 29 年以前に医師免許を取得し、厚生労働省臨床研修修了者
- 3) 一般社団法人日本救急医学会の正会員であること（令和 8 年 4 月 1 日付で入会予定の者も含む。
- 4) 応募期間：随時受付
- 5) 救急医学会ホームページ <http://www.jaam.jp/index.htm> から専攻医登録されていること。

②選考方法：書類審査、面接試験。面接の日時・場所は別途通知します。

③提出書類：

- A) 採用申込書
- B) 履歴書
- C) 医師免許証の写し(A4 版に加工のこと)
- D) 臨床研修歴証明書
- E) 専門研修希望調査票

A,B,D,E は当院所定の様式をダウンロードし記入してください。

当院ホームページ <http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/>

④提出方法

郵便受付とします。封筒の表に「**専攻医**」と**朱書**するとともに、投函後、速やかに電子メールで投函した旨（氏名、投函日）を連絡のこと。受付した旨メール返信します。

問い合わせ先および提出先：

〒790-0024 愛媛県松山市春日町 83

愛媛県立中央病院 総務医事課 職員係

TEL：089-947-1111 内線 6391

FAX：089-943-4136

E-mail：c-kensyu@eph.pref.ehime.jp（上記の投函した旨連絡先）